

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら南越谷 教室

保護者等数(児童数) 31人 回収数 22人 割合 70%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18件	4件	0件	0件	・広々としてきれいでした。	活動ごとに必要なものを出し入れて活動スペースを確保する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19件	3件	0件	0件	・昨年先生がガラリと変わり、子供に対して何人配置されているのかわからない	配置は適切だが、職員紹介などおたよりで保護者に周知していく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17件	5件	0件	0件		利用児童に合わせて障壁となるところは適時査定する。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	20件	2件	0件	0件		達成度を踏まえた計画となるようさらに保護者との連携に努める。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22件	0件	0件	0件		児童管が個々のプログラム立案を集約しながら、それぞれの職員が企画している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0件	14件	8件	0件	・コロナ対策のためやむを得ない。 ・健常者と関わるのは不安が大きい ・できるような機会を作ってほしい	児童館や公園での活動を集団プログラムとして設定していく。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22件	0件	0件	0件		契約時に丁寧な説明を継続する。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22件	0件	0件	0件		送迎時に支援の様子をお伝えする際に聞き取りした情報をしっかり職員間で共有したうえで、事業所としての視点をお伝えできるよう努める。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22件	0件	0件	0件	・いつも親身になって相談に乗って頂き本当に感謝しています。	いつでも相談しやすい関係性を築くために、電話だけでなくLINEも活用しニーズがないか発信していく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2件	6件	14件	0件	・コロナのためやむを得ない ・放デイに保護者連携は必要ない ・相談できるので交流会があってもいい	授業参観の形で当日利用の保護者に参加してもらう日程を、コロナが落ち着いたら設定する。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17件	5件	0件	0件	・苦情を聞いたことがない ・親子とも苦情は感じていないのでわからない	事業所内苦情受付窓口の周知を契約時に説明している。 苦情があった場合は迅速に事業所内で会議を行い、改ざん対策をお伝えする。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21件	1件	0件	0件		それぞれの人柄や特性を職員間で共有するよう努めている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17件	5件	0件	0件		こぼんだよりを再開する。
	14 個人情報に十分注意しているか	22件	0件	0件	0件		鍵付きキャビネットでの施錠を徹底する。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20件	2件	0件	0件		発生を想定した事業所内研修を定期的に行う。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15件	7件	0件	0件	・子どもがあまり理解していなかった	避難訓練の定期的な開催を継続していく。 実施報告を保護者にも周知していく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21件	1件	0件	0件	・毎日どんなレクがあるのか楽しみにしており、利用日はいつも楽しく過ごしてきてくれるので親としても嬉しい限り。	児童が楽しめた成果を家庭に持ち帰られるような工夫をしていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	22件	0件	0件	0件	・子どもの情緒面が安定し、運筆の練習も本人なりに上達しているので感謝しています。	支援の適切さだけでなく、児童や保護者の満足度にも配慮した支援が行えているかカンファレンスで自己評価を行っている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら南越谷 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7件	0件		利用定員の厳守を継続する。
	2	職員の配置数は適切である	6件	0件	・児発管が現場に入らなくても回るような人員配置にしてほしい	業務の偏りをなくすため、新人教育や、社員とアルバイトの役割分担を再構築する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5件	0件		利用児童に合わせて障壁となる場所は適時査定していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4件	1件		振り返りを強化するため終礼を導入する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5件	2件		今回の保護者評価と改善策を議事録化して職員へ周知する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3件	4件		ホームページ公開の継続に加え、公開したことをおたより等で保護者に周知する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0件	7件		法人での第三者評価導入を検討依頼する。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5件	0件	・ミーティングのある時は勉強会を行う。 外部研修を増やしてもいい。	定期的に行う事業所内研修に加え、本部で行う研修への参加も進める。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7件	0件	・職員間で情報共有して作成している。	支援計画作成前には必ずカンファレンスを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6件	0件		アセスメントには標準化されたアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7件	0件		児発管が個々のプログラム立案を集約しながら、それぞれの職員が企画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7件	0件		児発管が個々のプログラム立案を集約しながら、それぞれの職員が企画している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7件	0件	・保護者との共有を行い細かく設定している。	休日や長期休暇中には平日には行えないイベントなどを催している。 学習や運動面での課題も平日とはわけて検討している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7件	0件		一日のスケジュールの中に個別活動と集団活動を設定し、それぞれ実施・評価を行うことで支援計画に反映させている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7件	0件	・朝礼の際に担当する子どもの支援内容を共有しているので流れがわかりやすい。	毎朝朝礼の実施、担当やスケジュールの作成送迎表の共有を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2件	3件	・日々の職員間の会話では情報収集や今後の対応等の検討は行っている。	終礼を導入する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7件	0件		日々の支援の記録に加え学習についても記録も取り、次回の学習準備の参考にしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5件	0件		児発管が定期的に現場に入ることによって、日常的にモニタリングを行っている。
関係機関や保護者	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4件	1件		ガイドラインの基本活動が明確に反映できる支援計画のフォーマットを導入する。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1件	4件		必要に旺いて事業所からサービス担当者会議の開催を呼び掛ける。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4件	2件		送迎時以外にも必要に応じて学校と連絡・相談を行いながら連携していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	件	件	該当しない	該当しない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0件	6件		移行先からの求めに応じて支援内容の共有は行ってるが、より積極的にこちらから発信・聞き取りの機会を持つていくよう努める。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0件	6件		移行先からの求めに応じて支援内容の共有は行ってるが、より積極的にこちらから発信していくよう努める。	

目との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3件	2件	事業所内での困難事例など、相談先として支援センターなど活用していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0件	7件	児童館や公園などでの活動を集団プログラムとして設定していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1件	6件	特別支援学校の連絡会への参加を行っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7件	0件	連絡帳や送迎時だけでなく、いつでも相談ができるようにLINEの活用を進めていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3件	3件	相談があった場合だけでなく、支援の様子をお伝えする中でも保護者のニーズを探り、必要な支援につなげていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5件	0件	契約時に丁寧な説明を継続していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7件	0件	適時、相談のニーズがある場合はお知らせいただけるよう周知する。相談があった場合は、その日のうちにリアクションするよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0件	6件	授業参観形式で当日利用の保護者に参加してもらう日程を、コロナが落ち着きたい設定していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7件	0件	事業所内での苦情受付窓口の設置、および苦情があった場合には会議を行い対応策を協議のうえ、保護者にお伝えする。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件	2件	こぼんだよりを再開する。
	35	個人情報に十分注意している	6件	0件	・キャビネ等には施錠をしておらず防火不明。 鍵付きキャビネットでの施錠を徹底する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7件	0件	それぞれの人柄や特性を職員間で共有するよう努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0件	7件	県ボランティア団体の活用を検討する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5件	1件	発生を想定した事業所内研修を定期的に行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7件	0件	・避難訓練は毎月行っている。 定期的な避難訓練実施の継続。 保護者への実施報告も行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3件	3件	虐待防止研修を少なくとも年1回行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3件	2件	契約時に丁寧に説明している。 身体拘束が必要になりうる場合は会議を行い事業所として検討する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4件	1件	食物アレルギーのある児童が利用される場合は指示書の提出を求め、対応方法についても共有しておく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5件	1件	終礼にてヒヤリハットの確認と、ヒヤリハット報告書の作成を促していく。